

Android 版 VMware Horizon View Client の使用

2014 年 1 月
Horizon View

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、
ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサ
ポートします。このドキュメントの最新版をチェックする
には、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参
照してください。

JA-001160-00

vmware[®]

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2011–2014 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。著作権および商標情報.

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

Android 版 VMware Horizon View Client の使用	5
1 セットアップとインストール	7
システム要件	7
Horizon View Client 向けの View 接続サーバの準備	8
スマートカード認証の要件	9
モバイルクライアント用のスマートカード認証の構成	10
組み込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用	11
SSL 詳細オプションの構成	12
サポートされているデスクトップのオペレーティングシステム	12
View Portal で表示される View Client のダウンロード リンクの構成	13
Android 版 Horizon View Client のインストールまたはアップグレード	14
VMware が収集する Horizon View Client のデータ	15
2 URI を使用した構成 Horizon View Client	19
vmware-view URI を作成するための構文	19
vmware-view URI の例	21
3 サーバ接続とデスクトップの管理	25
リモート デスクトップへの初回ログイン	25
Horizon View Client の証明書チェック モード	27
Android ホーム画面のデスクトップショートカットを作成	28
View 接続サーバリストの管理	28
デスクトップからの切断	29
デスクトップからのログオフ	29
デスクトップのロールバック	30
デスクトップショートカットの管理	31
4 モバイル デバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用	33
機能サポート一覧	33
入力デバイス、キーボード、およびキーボード設定	34
日本語 106/109 キーボード レイアウトの有効化	35
Unity Touch でのアプリケーションの起動、最小化と終了	35
Horizon View Client Tools	38
動作	41
マルチタスク	42
画面解像度と外部ディスプレイの使用	42
PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシュ	43
国際化と国際キーボード	44

5	Horizon View Client のトラブルシューティング	45
	ログ情報の収集と送信	45
	View Client ログ収集の有効化	45
	Horizon View Client ログ ファイルの手動での取得と送信	46
	View Client ログ収集の無効化	46
	デスクトップのリセット	47
	VMware View アプリケーションのアンインストール	48
	Horizon View Client の応答の停止またはリモート デスクトップのフリーズ	48
	プロキシ使用時の接続構築に関する問題	48
	インデックス	51

Android 版 VMware Horizon View Client の使用

本ガイド『Android 版 VMware Horizon View Client の使用』では、VMware® Horizon View™ソフトウェアを Android デバイスでインストールおよび使用して、データセンターのデスクトップに接続する方法について説明します。

このドキュメントの情報には、Android 版 Horizon View Client をインストールするためのシステム要件と手順が含まれます。本ガイドは、Android デバイスで Windows デスクトップ エlement をナビゲートおよび使用するユーザー エクスペリエンスを向上するためのヒントも提供します。

この情報は、Android クライアント デバイスを含む Horizon View 展開設定を行う必要がある管理者を対象としています。これらの情報は、仮想マシン テクノロジーおよびデータ センターの運用に精通している経験豊富なシステム管理者向けに記述されています。

セットアップとインストール

Android クライアント用の Horizon View の展開環境の設定では、特定の View 接続サーバの構成設定を使用し、Horizon View サーバと Android デバイス クライアントのシステム要件を満たし、VMware View アプリをインストールします。

この章では次のトピックについて説明します。

- [システム要件 \(P. 7\)](#)
- [Horizon View Client 向けの View 接続サーバの準備 \(P. 8\)](#)
- [スマート カード認証の要件 \(P. 9\)](#)
- [モバイル クライアント用のスマート カード認証の構成 \(P. 10\)](#)
- [組み込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用 \(P. 11\)](#)
- [SSL 詳細オプションの構成 \(P. 12\)](#)
- [サポートされているデスクトップのオペレーティング システム \(P. 12\)](#)
- [View Portal で表示される View Client のダウンロード リンクの構成 \(P. 13\)](#)
- [Android 版 Horizon View Client のインストールまたはアップグレード \(P. 14\)](#)
- [VMware が収集する Horizon View Client のデータ \(P. 15\)](#)

システム要件

多くの Android デバイスに Horizon View Client をインストールすることができます。

Horizon View Client をインストールする Android デバイスとその周辺機器は、一定のシステム要件を満たしている必要があります。

オペレーティング システム

- Horizon View Client 2.3:Android 3 (Honeycomb)、Android 4 (Ice Cream Sandwich)、および Android 4.1/4.2/4.3 (Jelly Bean)/4.4 (KitKat)。
- Horizon View Client 2.0、2.1、および 2.2:Android 3 (Honeycomb)、Android 4 (Ice Cream Sandwich)、および Android 4.1、4.2、および 4.3 (Jelly Bean)。
- View Client 1.7 : Android 3 (Honeycomb)、Android 4 (Ice Cream Sandwich)、および Android 4.1、4.2、および 4.3 (Jelly Bean)。
- View Client 1.6 : Android 3 (Honeycomb)、Android 4 (Ice Cream Sandwich) および Android 4.1 (Jelly Bean)。
- View Client 1.5 : Android 3 (Honeycomb) および Android 4 (Ice Cream Sandwich)。Cisco Cius デバイスでは Android 2.2 がサポートされています。

	<ul style="list-style-type: none"> ■ View Client 1.2、1.3 および 1.4 : Android 3 (Honeycomb)。Cisco Cius デバイスでは Android 2.2 がサポートされています。
CPU アーキテクチャ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Horizon View Client 2.1 以降:ARM および x86 ■ Horizon View Client 2.0 以前:ARM
外部キーボード	(オプション) Bluetooth キーボード デバイスとドッキング キーボード デバイス。お使いのデバイスがサポートするデバイスの詳細については、デバイス製造元からのドキュメントを参照してください。
スマート カード	「スマート カード認証の要件 (P. 9)」 を参照してください。
View 接続サーバ、セキュリティ サーバ、および View Agent	<p>VMware View 4.6.x およびそれ以降の VMware View と Horizon View のリリースの最新メンテナンス リリース</p> <p>VMware ではセキュリティ サーバの使用を推奨しています。これにより、お使いのデバイスでは VPN 接続が不要になります。</p> <hr/> <p>重要 Unity Touch 機能には、Horizon View 5.2 以降のサーバおよびデスクトップが必要です。Remote Experience Agent もデスクトップにインストールする必要があります。詳細については、『VMware Horizon View 機能パック インストールおよび管理ガイド』および 「Unity Touch でのアプリケーションの起動、最小化と終了 (P. 35)」 を参照してください。</p> <hr/>
Horizon View 用の表示プロトコル	PCoIP

Horizon View Client 向けの View 接続サーバの準備

エンドユーザーがリモートデスクトップに接続できるようにするには、管理者が特定のタスクを実行する必要があります。

エンドユーザーが View 接続サーバまたはセキュリティ サーバに接続して、リモートデスクトップにアクセスできるようになるには、特定のプールの設定およびセキュリティの設定を構成する必要があります。

- VMware が推奨するようにセキュリティ サーバを使用している場合は、View 接続サーバ 4.6.x の最新メンテナンスリリースと View セキュリティ サーバ 4.6.x 以降のリリースを使用していることを確認します。『VMware Horizon View インストールガイド』を参照してください。
- クライアントデバイスに安全なトンネル接続を使用する予定で、その安全な接続が View 接続サーバまたはセキュリティ サーバの DNS ホスト名を使用して構成される場合には、この DNS 名がクライアントデバイスによって解決できることを確認します。

安全なトンネルを有効または無効にするには、View Administrator で [View 接続サーバ設定の編集] ダイアログボックスに移動して、[デスクトップへの安全なトンネル接続を使用する] チェックボックスを使用します。

- デスクトップ プールが作成済みであること、および使用する予定のユーザー アカウントにリモートデスクトップへのアクセス権が付与されていることを確認します。『VMware Horizon View 管理ガイド』のデスクトッププールの作成についてのトピックを参照してください。
- Horizon View Client で、RSA SecurID または RADIUS 認証などの 2 要素認証を使用するには、View 接続サーバでこの機能を有効にする必要があります。RADIUS 認証は、View 5.1 以降の View 接続サーバで使用できます。詳細については、『VMware Horizon View 管理ガイド』の 2 要素認証についてのトピックを参照してください。
- エンドユーザーがリモートデスクトップにログインする際にいつも認証情報を入力しなくて済むように、Horizon View Client でパスワードを保存できるようにするには、View 接続サーバでこの機能のポリシーを設定します。

この機能は、View 接続サーバ 5.1 以降を介してリモート デスクトップに接続している View Client 1.5 以降で使用できます。ユーザーがパスワードを保存できるのは、保存を許可するポリシーが設定されていて、Horizon View Client が View 接続サーバによって渡されるサーバ証明書を完全に検証できる場合です。このポリシーの構成の詳細については、『VMware Horizon View 管理ガイド』の「ユーザ認証の設定」の章の「ユーザに認証情報の保存を許可」トピックを参照してください。

- デスクトッププールがPCoIP表示プロトコルを使用する設定になっていることを確認します。『VMware Horizon View 管理ガイド』を参照してください。

スマート カード認証の要件

ユーザー認証にスマート カードを使用するクライアント システムは、特定の要件を満たす必要があります。

注意 Android 版 Horizon View Client 2.1 以降では、Windows XP、Windows Vista、または Windows 7 ゲスト OS を実行するデスクトップでのスマート カードの使用がサポートされています。VMware は Android 4.0 以降のオペレーティング システムの使用を推奨しています。CPU アーキテクチャは ARM でなければなりません。以下のカードおよびリーダーでテスト済みです：baiMobile Bluetooth スマート カードリーダーおよび以下のスマート カード：CAC (Common Access Card) スマート カード、ActivIdentity 64K V2C Java カード、Gemalto ID Prime .NET (旧名は .NET V2+ Orange)。

ユーザー認証にスマート カードを使用する各クライアント システムには、次のソフトウェアおよびハードウェアが必要です。

- Horizon View Client
- Windows 互換のスマート カード リーダ
- スマート カード モデルウェア

たとえば、Android デバイスのアプリは、baiMobile 3000MP リーダーをサポートする必要があります。そのようなアプリの 1 つとして Android PC/SC-Lite サービスがあり、Android デバイスにおけるそのタイトル名は baiMobile PC/SC です。そうでなければ、Android デバイスと Bluetooth カード リーダーをペアにすることができますが、それらに接続することはできません。接続するには、アプリはリーダーに接続要求を送信し、Bluetooth 接続を確立するためにリーダーの [OK] ボタンをタップする必要があります。

- 製品固有のアプリケーション ドライバ

また、製品固有のアプリケーション ドライバをリモート デスクトップにインストールする必要もあります。たとえば、以下のドライバはテスト済みです：ActiveClient6.2.0.50、ActivClient_7.0.1、および Gemalto.MiniDriver.NET.inf。

Horizon View では、PKCS#11 または Microsoft CryptoAPI プロバイダを使用するスマート カードおよびスマート カード リーダがサポートされています。必要に応じて、ActivIdentity ActivClient ソフトウェア スイートをインストールできます。このソフトウェアは、スマート カードと対話するためのツールを提供します。

スマート カードで認証を行うユーザーはスマート カードを所有している必要があり、各スマート カードにはユーザー証明書が含まれる必要があります。

スマート カードに証明書をインストールするには、登録局として機能するようにコンピュータを設定する必要があります。このコンピュータは、ユーザーにスマート カードを発行するための権限を持っている必要があり、証明書を発行するドメインのメンバーである必要があります。

重要 スマート カードを登録するときに、生成される証明書の鍵サイズを選択できます。ローカル デスクトップでスマート カードを使用するには、スマートカードの登録時に 1024 ビットまたは 2048 ビットのキー サイズを選択する必要があります。512 ビットの鍵の証明書はサポートされていません。

Microsoft TechNet の Web サイトでは、Windows システム用にスマート カード認証を計画して実装する方法についての詳細情報が提供されています。

Horizon View Client システムのこれらの要件を満たすことに加えて、他の Horizon View コンポーネントは、スマートカードをサポートするための特定の構成要件を満たす必要があります。

- スマートカードの使用をサポートするための View server の構成についての詳細は、『VMware Horizon View 管理ガイド』のトピック「スマートカード認証の構成」を参照してください。

重要 スマートカードは、Horizon View 5.1.3 および 5.2 以降のサーバおよびデスクトップでのみサポートされます。

- スマートカード認証のために Active Directory で実行する必要があるタスクについては、『VMware Horizon View のインストール』マニュアルのスマートカード認証のための Active Directory の準備に関するトピックを参照してください。

モバイルクライアント用のスマートカード認証の構成

構成タスクでは、Bluetooth カードリーダーとモバイルデバイスを接続してペアにし、スマートカード取り外しポリシーを設定します。

開始する前に

- 正しいバージョンのクライアント、デスクトップエージェント、サーバ、モバイルデバイスのオペレーティングシステム、スマートカードリーダー、およびスマートカードを使用していることを確認します。[「スマートカード認証の要件 \(P.9\)」](#)を参照してください。Android デバイスのスマートカードミドルウェアは、baiMobile 3000MP リーダーをサポートする必要があります。そのようなアプリの 1 つとして Android PC/SC-Lite サービスがあり、Android デバイスにおけるそのタイトル名は baiMobile PC/SC です。
- 『VMware Horizon View インストールガイド』の「スマートカード認証のための Active Directory の準備」に説明されているタスクをまだ実行していない場合は、そのタスクを実行します。
- スマートカードの使用をサポートするように View Server を構成します。『VMware Horizon View 管理ガイド』のトピック「スマートカード認証の構成」を参照してください。

手順

- 1 スマートカードミドルウェアアプリをモバイルデバイスにインストールします。
アプリは baiMobile 3000MP リーダーをサポートする必要があります。
- 2 スマートカードリーダーのメーカーのマニュアルに従って、モバイルデバイスとカードリーダーをペアにします。
このプロセスの間、ランダムに生成された数字が両方のデバイスに表示されます。数字が一致することを確認したら、安全な Bluetooth 通信を確立します。
- 3 スマートカード取り外しポリシーを構成します。

オプション	説明
サーバにポリシーを設定する	View Administrator を使用してポリシーを設定する場合は、スマートカードを取り外した時に、ユーザーを View 接続サーバから切断するか、スマートカードを取り外した時に、ユーザーを View 接続サーバに接続したままにして、再認証しなくても新しいデスクトップセッションを開始できるようにします。 View Administrator で [View の構成] - [サーバ] - [View 接続サーバ (編集)] - [認証] - [スマートカード認証] - [スマートカード取り外しポリシー] に移動します。
デスクトップにポリシーを設定する	グループポリシーエディタ (gpedit.msc) を使用する場合は、操作なし、ワークステーションのロック、強制ログオフ、または切断の 4 つの設定を使用できます。デスクトップのオペレーティングシステムで gpedit.msc を開いた後、[Windows 設定] - [セキュリティの設定] - [ローカルポリシー] - [セキュリティオプション] - [対話式ログオン:スマートカード取り外し動作] に移動します。

組込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用

RSA SecurID ソフトウェアのトークンを作成し、エンドユーザーに配布した場合、PIN とトークン コードではなく、PIN のみを入力すれば認証されます。

セットアップ要件

注意 この機能は、View Client 1.6 以降を使用している場合に限って使用できます。

CTF (Compressed Token Format) またはダイナミック シード プロビジョニング (CT-KIP (Cryptographic Token Key Initialization Protocol) と呼ばれる) を使用して、使いやすい RSA 認証システムをセットアップできます。このシステムを使用すれば、エンドユーザーに送信する URL を生成できます。トークンをインストールするには、エンドユーザーはこの URL をクライアント デバイスの Horizon View Client に直接貼り付けます。エンドユーザーが View 接続サーバに Horizon View Client で接続すると、この URL を貼り付けるダイアログ ボックスが表示されます。

Android 版 Horizon View Client では、ファイル ベースのプロビジョニングもサポートします。ファイル ベースのソフトウェア トークンがユーザーに発行される場合、認証サーバは XML 形式のトークン ファイルを生成します。これは、**.sdtid** 拡張子が付くので SDTID ファイルと呼ばれます。Horizon View Client は SDTID ファイルを直接インポートできます。View Client 1.7 以降のバージョンでは、ファイル ブラウザで SDTID ファイルをタップすると、Horizon View Client を起動できます。

ソフトウェア トークンがインストールされた後、エンドユーザーは PIN を入力して認証を行います。外部 RSA トークンの場合は、エンドユーザーは PIN とハードウェアまたはソフトウェア認証トークンによって生成されたトークン コードを入力する必要があります。

Horizon View Client が RSA を有効にした View 接続サーバに接続しているときに、エンドユーザーが Horizon View Client に URL をコピーして貼り付ける場合、次の URL プレフィックスがサポートされます。

- **viewclient-securid://**
- **http://127.0.0.1/secrid/**

View Client 1.7 以降のエンドユーザーは、URL をタップすればトークンをインストールできます。プレフィックス **viewclient-securid://** および **http://127.0.0.1/secrid/** がサポートされています。一部のブラウザでは、**http://127.0.0.1** で始まるハイパーリンクはサポートされません。また、一部のファイル ブラウザ (ASUS Transformer Pad の File Manager アプリなど) では、SDTID ファイルを Horizon View Client にリンクできません。

ダイナミック シード プロビジョニングまたはファイルベース (CTF) のプロビジョニングの詳細については、<http://www.rsa.com/node.aspx?id=3652> で Web ページ「iPhone デバイス用 RSA SecurID ソフトウェア トークン」または <http://www.rsa.com/node.aspx?id=3832> で「Android 用 RSA SecurID ソフトウェア トークン」を参照してください。

エンドユーザーへの指示

エンドユーザーに送る CTFString URL または CT-KIP URL を作成する場合、パスワード、またはアクティベーションコード付、またはなしで URL を生成することができます。以下の情報を記載した電子メールで、エンドユーザーにこの URL を送信してください。

- [ソフトウェアトークンのインストール] ダイアログ ボックスにナビゲートする手順。

View 接続サーバに接続の際、RSA SecurID 認証情報の入力を求める Horizon View Client ダイアログ ボックスの [外部トークン] をタップするよう、エンドユーザーに指示します。

- プレーン テキストの CTFString URL または CT-KIP URL

URL にフォーマットをかけている場合、View Client で使用すると、エラー メッセージが表示されます。

- 作成した CT-KIP URL にアクティベーション コードが含まれていない場合は、アクティベーション コード。

エンドユーザーは、ダイアログ ボックスのテキスト フィールドにこのアクティベーション コードを入力します。

- CT-KIP URL にアクティベーションコードが含まれている場合、[ソフトウェアトークンのインストール] ダイアログボックスの [パスワードとアクティベーションコード] テキスト ボックスには何も入力する必要がないことを伝えてください。

SSL 詳細オプションの構成

Horizon View Client 2.3 以降では、Horizon View Client が View Server に接続するために使用できるセキュリティ プロトコルを選択できます。また、暗号制御文字列も指定できます。

重要 Horizon View Client および View 接続サーバでは、TLS v1.0 と TLS v1.1 がデフォルトでサポートされています。View 管理者に指示された場合、または View Server で最新のプロトコルがサポートされていない場合にのみ、Horizon View Client のセキュリティ プロトコルを変更してください。

開始する前に

- Horizon View Client 2.3 以降を使用していることを確認します。
- View Server で使用できるセキュリティ プロトコルを確認します。View Server で有効になっていないセキュリティ プロトコルを Horizon View Client で構成すると、接続は SSL エラーにより失敗します。

View 接続サーバのセキュリティ プロトコルの構成方法については、『VMware Horizon View セキュリティ』のドキュメントを参照してください。

手順

- 1 Horizon View Client インターフェイス ツールを使用して [全般設定] を表示します。

フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。フル スクリーン モードを使用していない場合、[設定] ボタンは画面の右上隅にあります。

- 2 [SSL 詳細オプション] をタップします。

- 3 [デフォルトの設定を使用] がオフになっていることを確認します。

- 4 セキュリティ プロトコルを有効または無効にするには、セキュリティ プロトコル名の横にあるチェックボックスをタップします。

TLS v1.0 と TLS v1.1 はデフォルトで有効になっています。

- 5 暗号制御文字列を変更する場合は、テキスト ボックス内をタップして、デフォルトの文字列を置き換えます。

デフォルトの暗号制御文字列 (AES:!aNULL:@STRENGTH) には、匿名 DH アルゴリズムを除く、128 ビットまたは 256 ビット AES 暗号化のいずれかを使用する暗号化スイートが含まれており、これらを強度によってソートします。

- 6 (オプション) デフォルト設定に戻す必要がある場合は、[デフォルトの設定を使用] オプションをタップして選択します。

- 7 [OK] をタップして変更を保存します。

変更は、次回、View Server に接続したときに有効になります。

サポートされているデスクトップのオペレーティング システム

管理者は、ゲスト オペレーティング システムを使用して仮想マシンを作成し、そのゲスト オペレーティング システムに View Agent をインストールします。エンド ユーザーは、クライアント デバイスからこれらの仮想マシンにログインできます。

サポートされているオペレーティング システムのリストについては、『Horizon View 4.6.x または 5.x インストール ガイド』の「View Agent でサポートされているオペレーティング システム」のトピックを参照してください。

View Portal で表示される View Client のダウンロード リンクの構成

デフォルトでは、ブラウザを開いて View 接続サーバ インスタンスの URL を入力すると、Horizon View Client をダウンロードするための VMware Download サイトへのリンクを含むポータル ページが表示されます。このデフォルトは変更できます。

ポータル ページのデフォルトの Horizon View Client リンクを使用すれば、互換性のある最新の Horizon View Client インストーラを確実にダウンロードできます。ただし、社内の Web サーバへのリンクを表示したり、特定のクライアント バージョンを View 接続サーバで使用できるようにしたりしたい場合もあるでしょう。異なる URL をポイントするためにページを再構成できます。

Mac OS X、Linux、および Windows のクライアント システムのリンクを作成すると、そのオペレーティング システムの正しいリンクがポータル ページに表示されます。たとえば、Windows システムからポータル ページを参照すると、Windows インストーラのリンクだけが表示されます。32 ビット版インストーラと 64 ビット版インストーラ用のリンクは、個別に作成することができます。iOS や Android のシステムのリンクも作成できますが、これらのオペレーティング システムは自動的に検出されないため、たとえば、iPad からポータル ページを参照すると、iOS と Android の両方のリンクを作成した場合は、両方のリンクが表示されます。

重要 本トピックで説明したようにポータル ページのリンクをカスタマイズし、後でサーバに VMware Horizon View HTML Access をインストールすると、カスタマイズしたポータル ページは、HTML Access ページに置き換わります。そのページのカスタマイズの詳細については、VMware Horizon View HTML Access の使用を参照してください。

開始する前に

- ご使用の環境に適する Horizon View Client のタイプのインストーラ ファイルをダウンロードします。クライアント ダウンロード ページの URL は <https://www.vmware.com/go/viewclients> です。
- どの HTTP サーバがインストーラ ファイルをホストするかを決定します。View 接続サーバ インスタンスまたは他の HTTP サーバにファイルを置くことができます。

手順

- 1 インストーラ ファイルが置かれている HTTP サーバにインストーラ ファイル用のフォルダを作成します。

たとえば、デフォルト インストール ディレクトリで View 接続サーバ ホストの **downloads** フォルダにファイルを配置するには、以下のパスを使用します。

C:\Program Files\VMware\VMware View\Server\broker\webapps\downloads

ファイルへのリンクは、以下のフォーマットの URL を使用します。https://<server-name>/downloads/<client-installer-file-name>。たとえば、view.mycompany.com という名前のサーバは、Windows 版 View Client で以下の URL を使用します。

https://view.mycompany.com/downloads/VMware-Horizon-View-Client.exe。この例では、**downloads** という名前のフォルダは、ルート フォルダの **webapps** に置かれます。

- 2 インストーラ ファイルをこのフォルダにコピーします。

フォルダが View 接続サーバに置かれている場合、VMware View 接続サーバ サービスを再起動することなく、このフォルダのファイルを置き換えることができます。

- 3 View 接続サーバ マシンでは、<install-path>\Server\Extras\PortalExamples に置かれている **portal-links.properties** ファイルおよび **portal.properties** ファイルをコピーします。
- 4 **portal** フォルダを **C:\ProgramData\VMware\VDM** ディレクトリに作成し、**portal-links.properties** および **portal.properties** ファイルを **portal** フォルダにコピーします。

- 5 C:\ProgramData\VMware\VDM\portal\portal-links.properties ファイルを編集して、インストーラファイルの新しい場所をポイントします。

このファイルの行を編集して、さらにリンクを作成する必要がある場合はリンクを追加できます。行を削除することもできます。

以下の例は、Windows 版 View Client に 2 つのリンク、そして Linux 版 View Client に 2 つのリンクを作成するためのプロパティを示しています。

```
link.win=https://<varname id="VARNAME_B2B27F517DB04754B1CCF5F1411BA59E">server-
name</varname>/downloads/VMware-Horizon-View-Client-x86_64-<varname
id="VARNAME_7CD50CBABC614BCD976B2575FEDEF1F2">y.y.y-XXXX</varname>.exe#win
link.win.1=https://<varname id="VARNAME_8243922EA8B44DC3A2E9A360C4DDC304">server-
name</varname>/downloads/VMware-Horizon-View-Client-<varname
id="VARNAME_9D2A6519E01D4ADA9B701FDB8785B141">y.y.y-XXXX</varname>.exe#win
link.linux=https://<varname id="VARNAME_C62EA29FFF1047D1A350C57AD8006223">server-
name</varname>/downloads/VMware-Horizon-View-Client-x86_64-<varname
id="VARNAME_B664011E02154BBD9479411042551944">y.y.y-XXXX</varname>.rpm#linux
link.linux.1=https://<varname id="VARNAME_C498001B66334F39A59E2610D499EAA8">server-
name</varname>/downloads/VMware-Horizon-View-Client-<varname
id="VARNAME_D5652EFD7B75490F873921D2AFF8D9B0">y.y.y-XXXX</varname>.tar.gz#linux
```

この例では、<y.y.y-XXXX> はバージョンとビルド番号を示します。行の最後の **win** テキストは、クライアントが Windows オペレーティングシステムを持つ場合にこのリンクがブラウザに表示される必要があることを示します。Windows には **win**、Linux には **linux**、そして Mac OS X には **mac** を使用します。その他のオペレーティングシステムには **unknown** を使用します。

- 6 C:\ProgramData\VMware\VDM\portal\portal.properties ファイルを編集して、リンクで表示するテキストを指定します。

これらの行は、**# keys based on key names in portal-links.properties** キーと呼ばれるファイルのセクションに表示されます。

以下の例は、**link.win** および **link.win.1** に指定されたリンクに対応するテキストを示します。

```
text.win=View Client for Windows 32 bit Client users
text.win.1=View Client for Windows 64 bit Client users
```

- 7 VMware View 接続サーバサービスを再起動します。

View 接続サーバの URL をエンドユーザーが入力すると、指定したテキストでリンクが表示されます。リンクは指定した場所をポイントします。

Android 版 Horizon View Client のインストールまたはアップグレード

Android 版 Horizon View Client は Android アプリです。他の Android アプリと同じようにインストールしてください。

開始する前に

- デバイスを未だセットアップしていなければ行ってください。デバイスの製造メーカーのユーザーガイドを参照してください。
- VMware Horizon View Client インストーラを含むダウンロード ページの URL を調べておきます。この URL は、VMware Downloads ページ (<http://www.vmware.com/go/viewclients>)、または View 接続サーバインスタンスの URL である場合があります。

View 接続サーバの URL を参照すると、デフォルトでは、そのポータルページのリンクは VMware Downloads ページをポイントします。リンクを構成することで、異なる場所をポイントするようにできます。詳細については、[\[View Portal で表示される View Client のダウンロード リンクの構成 \(P. 13\)\]](#) を参照してください。ページの構成方法によっては、VMware Horizon View HTML Access のリンクが表示されることもあります。HTML Access では、クライアントソフトウェアをインストールすることなく、ブラウザを使用して、仮想デスクトップに接続できます。VMware Horizon View Client は HTML Access クライアントよりも多くの機能を提供し、優れたパフォーマンスを発揮するため、通常、このクライアントソフトウェアをインストールすることを推奨します。

- アプリケーションをインストールするためのデバイスの操作を理解してください。

Android アプリケーションのインストール方法は、各メーカーのデバイスごとに異なります。デバイスの製造メーカーのユーザー ガイドを参照してください。デバイスにより、アプリケーションをインストールする前に次のタスクを実行する必要がある場合もあります。

- 特殊なドライバのインストール。
- ファイル ブラウザのインストール。

手順

- 1 VMware View アプリケーションをダウンロードするための URL を参照するか、Google Play ストアまたは Android 版 Amazon Appstore で VMware View アプリケーションを検索します。
一部のデバイスでは、ファイルをデバイスにダウンロードします。他のタブレットでは、ファイルを PC または USB デバイスにダウンロードします。
- 2 必要に応じて、アプリケーション (.apk ファイル) をデバイスにコピーします。
- 3 アプリケーションをインストールするためのデバイスの通例の手順に従ってアプリケーションをインストールします。
たとえば、一部のデバイスでは、ファイルをタップしてインストールします。
- 4 インストールが成功したかどうかを確認するには、ホーム画面のデスクトップ上で[VMware View]アプリケーションアイコンを検証します。

VMware が収集する Horizon View Client のデータ

所属する企業がカスタマー エクスペリエンス向上プログラムに参加している場合、VMware は Horizon View Client の特定フィールドのデータを収集します。機密情報が含まれるフィールドは、匿名扱いとなります。

注意 この機能は、現在の Horizon View の配置が View 接続サーバ 5.1 以降を実装している場合に限り使用できます。View Client 1.7 以降のクライアントの場合、クライアント情報が送信されます。

VMware は、クライアント上で情報を収集し、ハードウェアとソフトウェアの互換性を優先度付けします。社内の管理者がカスタマー エクスペリエンス向上プログラムへの参加を決めた場合、VMware はお客様のご要望に対する VMware の対応を改善する目的で、現在ご使用の配置に関する匿名データを収集します。企業が特定できるような情報は収集されません。Horizon View Client の情報は最初に View 接続サーバに送信されてから、Horizon View サーバ、デスクトッププール、およびリモート デスクトップのデータと共に VMware に送られます。

情報は View 接続サーバへ送信される途中で暗号化されますが、クライアント システムの情報は暗号化なしで、ユーザー固有のディレクトリ内に記録されます。この記録には、個人情報はありません。

VMware カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに参加するには、View 接続サーバをインストールする管理者が View 接続サーバインストールウィザードを実行しているときに選択するか、インストール後に View Administrator でオプションを設定します。

表 1-1. カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに関して Horizon View Client から収集されるデータ

説明	このフィールドは匿名になりますか？	値の例
Horizon View Client アプリケーションのメーカー	いいえ	VMware
製品名	いいえ	VMware Horizon View Client
クライアント製品のバージョン	いいえ	この形式は <x.x.x-yyyyyy> です (<x.x.x> はクライアントのバージョン番号、<yyyyyy> はビルド番号)。
クライアントのバイナリアーキテクチャ	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ i386 ■ x86_64 ■ arm
クライアントのビルド名	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ VMware-Horizon-View-Client-Win32-Windows ■ VMware-Horizon-View-Client-Linux ■ VMware-Horizon-View-Client-iOS ■ VMware-Horizon-View-Client-Mac ■ VMware-Horizon-View-Client-Android ■ VMware-Horizon-View-Client-WinStore
ホスト OS	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Windows 8.1 ■ Windows 7、64 ビット Service Pack 1 (Build 7601) ■ iPhone OS 5.1.1 (9B206) ■ Ubuntu 10.04.4 LTS ■ Mac OS X 10.7.5 (11G63)
ホスト OS のカーネル	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Windows 6.1.7601 SP1 ■ Darwin Kernel バージョン 11.0.0:Sun Apr 8 21:52:26 PDT 2012;root:xnu-1878.11.10~1/RELEASE_ARM_S5L8945X ■ Darwin 11.4.2 ■ Linux 2.6.32-44-generic #98-Ubuntu SMP Mon Sep 24 17:27:10 UTC 2012 ■ 不明 (Windows ストア版)
ホスト OS のアーキテクチャ	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ x86_64 ■ i386 ■ armv71 ■ ARM
ホスト システムのモデル	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Dell Inc. OptiPlex 960 ■ iPad3,3 ■ MacBookPro8,2 ■ Dell Inc. Precision WorkStation T3400 (A04 03/21/2008)
ホスト システムの CPU	いいえ	以下に例を挙げます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Intel(R) Core(TM)2 Duo CPU E8400 @ 3.00GH ■ Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q6600 @ 2.40GH ■ 不明 (iPad)

表 1-1. カスタマー エクスペリエンス向上プログラムに関して Horizon View Client から収集されるデータ (続き)

説明	このフィールドは匿名 になりますか？	値の例
ホストシステムのプロセッサのコア数	いいえ	例： 4
ホストシステムのメモリ容量 (MB)	いいえ	以下に例を挙げます。 ■ 4096 ■ 不明 (Windows ストア版)

URI を使用した構成 Horizon View Client

Uniform Resource Identifier (URI) を使用して作成できるリンク付きの Web ページや電子メールでは、エンドユーザーがクリックすると Horizon View Client が起動したり、View 接続サーバに接続したり、特定の構成オプションを持つ特定のデスクトップを起動したりできます。

エンドユーザー用の Web または電子メールのリンクを作成することで、リモート デスクトップへのログイン プロセスを簡素化できます。部分的または以下のすべての情報を提供する URI を作成することでこれらのリンクを作成すれば、エンドユーザーは入力する必要がありません。

- View 接続サーバのアドレス
- View 接続サーバのポート番号
- Active Directory ユーザー名
- Active Directory ユーザー名と異なる場合、RADIUS または RSA SecurID ユーザー名
- ドメイン名
- デスクトップ表示名
- セッションのリセット、ログオフ、開始を含むデスクトップアクション

URI を作成するには、Horizon View Client 固有のパスとクエリ部分と共に **vmware-view** URI スキーマを使用します。

注意 クライアント ソフトウェアがエンドユーザーのクライアント コンピュータにすでにインストールされている場合にのみ、URI を使用して Horizon View Client を起動することが可能です。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vmware-view URI を作成するための構文 \(P. 19\)](#)
- [vmware-view URI の例 \(P. 21\)](#)

vmware-view URI を作成するための構文

構文には、**vmware-view** URI スキーム、デスクトップを指定するためのパス部分、そしてオプションでデスクトップのアクションまたは構成オプションを指定するためのクエリが含まれます。

VMware Horizon View URI の仕様

以下の構文を使用して Horizon View Client を起動するための URI を作成します。

```
vmware-view://[<varname id="VARNAME_E0F8F9951BC4471D9871655A18782C9E">authority-part</varname>][/<varname id="VARNAME_7B21DCA6CDE942BBB914ADD20452590B">path-part</varname>][?<varname id="VARNAME_217F9AF17A3745369FD8E2154505D735">query-part</varname>]
```

必要となる唯一の要素は URI スキーム **vmware-view** です。一部のクライアント OS のバージョンによっては、スキーマ名は大文字と小文字の区別があります。したがって、**vmware-view** を使用してください。

重要 すべての部分で、非 ASCII 文字は UTF-8 [STD63] に基づいて最初にエンコードされる必要があります。次に対応する UTF-8 シーケンスの各オクテットは、URI 文字として表されるパーセントでエンコードされる必要があります。

ASCII 文字のエンコードについての詳細は、<http://www.utf8-chartable.de/> の URL エンコーディング資料を参照してください。

<authority-part>

サーバアドレス、オプションでユーザー名、非デフォルト ポート番号、またはその両方を指定します。サーバ名は、DNS 構文に一致する必要があります。

ユーザー名を指定するには、以下の構文を使用します:

```
user1@<varname
id="VARNAME_640D14F5E64B44E189F204DC09A8248B">server-
address</varname>
```

ドメインが含まれる UPN アドレスを指定できません。ドメインを指定するには、URI で **domainName** クエリ部分を使用できます。

ポート番号を指定するには、以下の構文を使用します:

```
<varname
id="VARNAME_1BAB6153D2834B1490509093A1961D1F">server-
address</varname>:<varname
id="VARNAME_2296A4E54893485C852FFE94067114D7">port-
number</varname>
```

<path-part>

デスクトップを指定します。デスクトップ表示名を使用します。表示名にスペースが含まれている場合、**%20** エンコーディング機能を使用してスペースを表します。

<query-part>

使用するための設定オプション、または実行するデスクトップ アクションを指定します。クエリは大文字と小文字の区別がありません。複数のクエリを使用するには、クエリの間アンパサンド (&) を使用します。クエリが違いに競合する場合、リストの最後のクエリが使用されます。次の構文を使用します:

```
<varname
id="VARNAME_48A6B3A0E1184943BC1206017B78B9D5">query1</varname
>=<varname
id="VARNAME_9B9916FF3D3540D4AA5622F9C828F072">value1</varname
>[&<varname
id="VARNAME_6BCA2912EC454A5683D586754BF89DCE">query2</varname
>=<varname
id="VARNAME_F698C39E83D34D639C943ACDF828BAFE">value2</varname
>...]
```

サポートされるクエリ

このトピックでは、このタイプの Horizon View Client でサポートされるクエリを示します。デスクトップクライアントやモバイルクライアントなどの複数のクライアントタイプ用に URI を作成する場合は、クライアントシステムの各タイプの『VMware Horizon View Client の使用』を参照してください。

操作

表 2-1. アクションクエリで使用できる値

値	説明
参照	指定したサーバにホストされている使用可能なデスクトップのリストを表示します。このアクションを使用している場合、デスクトップを指定する必要はありません。 参照アクションを使用し、デスクトップを指定する場合、デスクトップは使用できるデスクトップのリストで強調表示されます。
スタート セッション	指定したデスクトップを起動します。アクションクエリが提供されず、デスクトップ名が提供されなければ、 スタート セッション がデフォルトアクションとなります。
リセット	指定したデスクトップをシャットダウンして再起動します。保存されていないデータは失われます。リモートデスクトップのリセットは、物理 PC のリセットボタンを押すことに相当します。
ログオフ	リモートデスクトップのゲスト OS からユーザーをログオフします。
ロールバック	Windows PC またはノートパソコンのローカルモードを使用するためにチェックアウト中に、指定したデスクトップに行った変更を取り消します。

domainName

リモートデスクトップに接続しているユーザーに関連付けられているドメイン。

tokenUserName

RSA または RADIUS ユーザー名を指定します。RSA または RADIUS ユーザー名が Active Directory ユーザー名と異なる場合に限りこのクエリを使用します。このクエリを指定せず、RSA または RADIUS 認証が必要である場合、Windows ユーザー名が使用されます。この構文は、**tokenUserName=<name>** です。

vmware-view URI の例

vmware-view URI スキームでハイパーテキストリンクまたはボタンを作成し、これらのリンクを電子メールまたは Web ページに含めることができます。エンドユーザーはこれらのリンクをクリックして、たとえば、指定した起動オプションで特定のリモートデスクトップを起動できます。

URI 構文の例

各 URI の例に続いて、URI リンクをクリック後にエンドユーザーに表示される事柄について説明します。

1 **vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=start-session**

Horizon View Client が起動され、**view.mycompany.com** サーバに接続されます。ログインボックスが表示され、ユーザー名、ドメイン名、およびパスワードをユーザーに求めます。ログインに成功すると、クライアントはディスプレイ名が [Primary Desktop (プライマリ デスクトップ)] として表示されるデスクトップに接続し、ユーザーはゲスト OS にログインされます。

注意 デフォルトの表示プロトコルおよびウィンドウサイズが使用されます。デフォルトの表示プロトコルは PCoIP です。デフォルトのウィンドウサイズはフルスクリーンです。

2 `vmware-view://view.mycompany.com:7555/Primary%20Desktop`

この URI は前の例と同じ効果がありますが、View 接続サーバに 7555 の非デフォルト ポートを使用するところが異なります (デフォルトのポートは 443 です)。デスクトップ ID が提供されるので、デスクトップは `start-session` アクションが URI に含まれていない場合であっても起動されます。

3 `vmware-view://fred@view.mycompany.com/Finance%20Desktop?desktopProtocol=PCoIP`

Horizon View Client が起動され、`view.mycompany.com` サーバに接続されます。ログイン ボックスで、[ユーザー名] テキスト ボックスに [fred] という名前が入力されます。ユーザーはドメイン名とパスワードを入力する必要があります。ログインに成功すると、クライアントはディスプレイ名が [Finance Desktop (ファイナンス デスクトップ)] として表示されるデスクトップに接続し、ユーザーはゲスト OS にログインされます。PCoIP 表示プロトコルを使用して接続します。

4 `vmware-view://fred@view.mycompany.com/Finance%20Desktop?domainName=mycompany`

Horizon View Client が起動され、`view.mycompany.com` サーバに接続されます。ログイン ボックスで、[ユーザー名] テキスト ボックスに [fred] という名前が入力され、[ドメイン] テキスト ボックスに [mycompany] が入力されます。ユーザーはパスワードを入力する必要があるだけです。ログインに成功すると、クライアントはディスプレイ名が [Finance Desktop (ファイナンス デスクトップ)] として表示されるデスクトップに接続し、ユーザーはゲスト OS にログインされます。

5 `vmware-view://view.mycompany.com/`

Horizon View Client が起動され、`view.mycompany.com` サーバに接続するためのログイン画面が表示されます。

6 `vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=reset`

Horizon View Client が起動され、`view.mycompany.com` サーバに接続されます。ログイン ボックスが表示され、ユーザー名、ドメイン名、およびパスワードをユーザーに求めます。ログインに成功すると、Horizon View Client には、プライマリ デスクトップのリセット操作を確認するように指示するダイアログ ボックスが表示されます。クライアントのタイプによっては、リセットが行われた後、リセットが成功したかどうかを示すメッセージがユーザーに表示される場合があります。

注意 このアクションは、View 管理者がこの機能をエンド ユーザーに対して有効にしている場合にのみ可能です。

7 `vmware-view://`

クライアントがすでに実行中である場合、Horizon View Client アプリが前面に表示されます。クライアントがまだ実行されていない場合、Horizon View Client が起動され、Horizon View Client をデバイスで使用したことがあるか、クライアントがこれまでにサーバまたはリモート デスクトップに接続したことがあるかどうかに応じて、接続リスト、サーバリスト、またはようこそページが表示されます。

HTML コードの例

URI を使用してハイパー リンクおよびボタンを作成し、電子メールまたは Web ページに含めることができます。以下の例は、[Test Link (テスト リンク)] というハイパー リンクおよび [TestButton] というボタンのコードを記述するために最初の URI の例から URI を使用する方法を示します。

```
<html>
<body>
```

```
<a href="vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=start-session">Test Link</a><br>
```

```
<form><input type="button" value="TestButton" onClick="window.location.href='vmware-view://view.mycompany.com/Primary%20Desktop?action=start-session'"></form>
```

```
<br>
```

```
</body>
```

```
</html>
```


サーバ接続とデスクトップの管理

Horizon View Client を使用して View 接続サーバまたはセキュリティ サーバに接続し、接続するサーバのリストを編集し、リモート デスクトップにログインするか、リモートデスクトップからログオフします。トラブルシューティングを目的として、自分に割り当てられたリモート デスクトップをリセットすることもできます。

管理者によるリモート デスクトップのポリシーの構成方法によっては、エンド ユーザーはデスクトップで多くの操作を実行できるようになります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [リモート デスクトップへの初回ログイン \(P. 25\)](#)
- [Horizon View Client の証明書チェック モード \(P. 27\)](#)
- [Android ホーム画面のデスクトップショートカットを作成 \(P. 28\)](#)
- [View 接続サーバリストの管理 \(P. 28\)](#)
- [デスクトップからの切断 \(P. 29\)](#)
- [デスクトップからのログオフ \(P. 29\)](#)
- [デスクトップのロールバック \(P. 30\)](#)
- [デスクトップショートカットの管理 \(P. 31\)](#)

リモート デスクトップへの初回ログイン

エンド ユーザーがリモート デスクトップにアクセスする前に、クライアント デバイスからリモート デスクトップにログインすることが可能であることをテストします。ログインするには、View 接続サーバの URL を指定し、ユーザー アカウントの認証情報を入力する必要があります。

開始する前に

- ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコード、スマート カード個人識別番号 (PIN) などのログインに必要な認証情報を取得します。
- ログイン用のドメイン名を取得します。
- 管理タスクの実行については、[「Horizon View Client 向けの View 接続サーバの準備 \(P. 8\)」](#)で説明しています。
- 社内ネットワークの外部から接続し、リモート デスクトップへのアクセスにセキュリティ サーバを使用していない場合、使用しているクライアント デバイスが VPN 接続を使用していることを確認し、この接続をオンにします。

重要 VMware では、VPN よりもセキュリティ サーバの使用を推奨しています。

社内にワイヤレス ネットワークがあって、デバイスが使用できるリモート デスクトップにルーター アクセスが可能である場合、View セキュリティ サーバまたは VPN 接続を設定する必要はありません。

- リモート デスクトップへのアクセスを提供するサーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) があることを確認します。ポート番号が 443 ではない場合は、ポート番号も必要です。
- 組み込み RSA SecurID ソフトウェアを使用する予定がある場合、適切な CT-KIP URL およびアクティベーションコードを持っていることを確認してください。[組み込み RSA SecurID ソフトウェア トークンの使用 (P. 11)] を参照してください。
- View 接続サーバによって示された SSL 証明書に対して証明書確認モードを構成します。[Horizon View Client の証明書チェック モード (P. 27)] を参照してください。

手順

- 1 ホーム画面上で、[VMware View] アプリ アイコンをタップします。
- 2 [サーバの追加] ボタンをタップして、View 接続サーバまたはセキュリティ サーバの名前を入力し、[接続] をタップします。

Horizon View Client と View 接続サーバとの接続には常に SSL が使用されます。SSL 接続のデフォルト ポートは 443 です。View 接続サーバはデフォルト ポートを使用するように構成されていない場合、以下の例にあるフォーマットを使用します。**view.company.com:1443**。

ログイン ダイアログ ボックスが表示される前に、確認する必要があることを知らせるメッセージが表示されます。

- 3 スマート カードが必要となる場合またはオプションである場合、使用するスマート カード証明書を選択して PIN を入力します。

スマート カードに証明書が 1 つしかない場合、その証明書はすでに選択されています。多くの証明書がある場合は、必要に応じてスクロールできます。

- 4 RSA SecurID の認証情報または RADIUS の認証証明書の入力を求めるダイアログが表示されたら、認証情報を入力するか、組み込み RSA SecurID トークンを使用する予定の場合は、組み込みトークンをインストールします。

オプション	操作
既存のトークン	スマートフォンでハードウェア認証トークンまたはソフトウェア認証トークンを使用している場合、ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードには、PIN とトークンで生成された番号が含まれる場合があります。
ソフトウェア トークンのインストール	[外部トークン] をクリックします。[ソフトウェア トークンのインストール] ダイアログ ボックスに管理者から電子メールで送信された CT-KIP URL または CTFString URL をペーストしてください。URL にアクティベーションコードが含まれている場合、[パスワードとアクティベーションコード] テキスト ボックスには何も入力する必要がありません。

- 5 再度、RSA SecurID 認証情報または RADIUS 認証情報を入力するダイアログが表示されたら、トークンで次に生成された番号を入力します。

PIN および、過去に生成され、入力したものと同一番号は入力しないでください。必要に応じて、新しい番号が生成されるのを待ちます。

この手順は、最初のパスワードの入力をミスした、または RSA サーバの構成設定が変更された時にのみ、必要になります。

- 6 プロンプトされたら、Active Directory の認証情報を入力します。
 - a 少なくとも 1 つのデスクトップ プールを使用する資格が付与されているユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。
 - b ドメインを選択します。

- c 管理者がこの機能を有効にしている場合で、サーバ証明書が完全に検証されている場合、[パスワードの保存] チェックボックスを選択します。

パスワードを初めて保存するのであれば、デバイス管理者を起動するように求められます。これは、Android デバイスでパスワードを保存するために必要です。

- d [完了] をタップします。

- 7 表示されたリモート デスクトップ リストで、デスクトップをタップしてそれに接続します。

Horizon View Client 2.3 以降では、リスト上部の検索ボックスを使用して特定のデスクトップを検索できます。

スマート カード認証を使用している場合、PIN の再入力はありませんが、Active Directory 認証を使用する場合よりもログイン プロセスに時間がかかります。

デスクトップへの初回ログイン後、デスクトップのショートカットが Horizon View Client のホーム画面に保存されます。次回、リモート デスクトップに接続するときは、サーバのホスト名を入力するかわりにショートカットをタップします。

Horizon View Client の証明書チェック モード

管理者は、またときにはエンド ユーザーは、サーバの証明書チェックが失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。

証明書確認は、View 接続サーバと Horizon View Client 間の SSL 接続に対して実行されます。証明書検査では、次のような検査が行われます。

- 証明書の目的は、送信側の ID 検証やサーバ通信の暗号化以外にあるか。つまり、証明書のタイプは正しいか。
- 証明書は期限切れになっているか、また有効なのは未来のみか。つまり、証明書はコンピュータの時刻に応じて有効になっているか。
- 証明書上の共通名は、それを送信するサーバのホスト名と一致しているか。ロード バランサが Horizon View Client を、Horizon View Client に入力したホスト名と一致しない証明書を持つサーバにリダイレクトすると、不一致が発生する可能性があります。クライアントにホスト名ではなく IP アドレスを入力した場合でも、不一致の原因となる可能性があります。
- 不明なまたは信頼されていない証明機関 (CA) によって署名された証明書か。自己署名された証明書は、信頼されていない CA の証明書タイプの 1 つです。

チェックをパスするには、証明書のトラスト チェーンが、デバイスのローカル証明書ストアでルートになっている必要があります。

重要 ユーザーが Android デバイスにインストールできる自己署名付ルート証明書を配布する手順、および Android デバイスに証明書をインストールする手順については、Google の Web サイトの『Android 3.0 ユーザーズガイド』などのドキュメントを参照してください。

セキュリティ モードを設定することができます。[サーバの追加] ボタンまたは View 接続サーバリストが [最近使用した接続] 画面に表示されているときに、画面の右上隅の [設定] アイコンをタップし、[証明書確認モード] をタップします。選択肢は次の 3 つです。

- [信頼が確認されていないサーバには絶対に接続しない]。証明書の確認に失敗した場合、クライアントはサーバに接続できなくなります。失敗したチェックは、エラー メッセージに一覧表示されます。
- [信頼されていないサーバに接続する前に警告する]。サーバが自己署名証明書を使用していることが原因で、証明書の確認に失敗した場合、[続行] をクリックして警告を無視することができます。自己署名証明書の場合、証明書名は Horizon View Client に入力した View 接続サーバ名と一致する必要はありません。
- [サーバ ID 証明書を検証しない]。この設定は、証明書チェックは View によって一切実行されないことを意味します。

証明書確認モードが [警告] に設定されている場合でも、自己署名証明書を使用する View 接続サーバインスタンスに接続することができます。

後で管理者が信頼される証明機関からのセキュリティ証明書をインストールし、接続時のすべての証明書チェックにパスするようになると、この信頼された接続はその特定のサーバに対して記録されます。その後、このサーバが自己署名証明書を再び提示すると、接続は失敗します。特定のサーバが完全に検証可能な証明書を提示した後は、必ずその処理が行われます。

Android ホーム画面のデスクトップ ショートカットを作成

[最近使用した接続] 画面のデスクトップ ショートカットを使用して Android ホーム画面のデスクトップ ショートカットを作成できます。

注意 この機能は、Kindle fire デバイスでは利用できません。

開始する前に

少なくとも 1 回はデバイスからリモート デスクトップにログインし、デスクトップへのショートカットが [最近使用した接続] 画面に表示されるようにします。

1 度もログインしたことがない場合は、「[リモート デスクトップへの初回ログイン \(P. 25\)](#)」で手順について理解しておきます。

手順

- Horizon View Client 2.3 以降では、以下の手順を実行します。
 - a [最近使用した接続] 画面で、リモート デスクトップのショートカットにタッチして押したままにします。
画面の下部に [ホームに追加] が表示されます。
 - b ショートカットを [ホームに追加] にドラッグします。
 - c デスクトップショートカットの名前を入力し、[OK] をタップします。
この名前が 12 文字を超えると、超過した文字は Android のホーム画面に表示されません。
- Horizon View Client 2.2 以前では、以下の手順を実行します。
 - a Horizon View Client ホーム画面の [最近使用したデスクトップ] 領域でリモート デスクトップのショートカットにタッチして押したままにします。
 - b コンテキスト メニューから [Add Home Screen Shortcut (ホーム画面のショートカットを追加)] を選択します。
 - c ショートカット名を入力し、[OK] をクリックします。
この名前が 12 文字を超えると、超過した文字は Android のホーム画面に表示されません。

View 接続サーバ リストの管理

View Server に接続すると、Horizon View Client はサーバの説明または IP アドレスとユーザー名を、[最近使用した接続] 画面の View 接続サーバ リストに保存します。リストからサーバを編集したり削除したりできます。

Horizon View Client は、サーバ名を入力ミスした場合や、誤った IP アドレスを入力した場合でも、サーバ名または IP アドレスを View 接続サーバ リストに保存します。この情報は、View 接続サーバ リストを編集することによって削除または変更できます。サーバの説明を入力しない場合、サーバ名または IP アドレスがサーバの説明となります。

手順

- 1 [最近使用した接続] 画面で、画面の右上隅の [クラウド] アイコンをタップします。
- 2 View 接続サーバ リストで、コンテキスト メニューが表示されるまでサーバ名をタッチして押したままにします。

- 3 メニューを使用してサーバを削除するか、サーバ名、サーバの説明またはユーザー名を編集します。

デスクトップからの切断

アプリケーションがリモート デスクトップで開いたままになるように、ログオフせずにリモート デスクトップから切断できます。

リモート デスクトップにログインし、フル画面モードを使用していない場合、画面の右上隅の [メニュー] ボタンをタップして [切断] を選択することで切断できます。フル画面モードを使用している場合、[Horizon View Client Tools] アイコンをタップし、[切断] アイコンをタップします。デスクトップから切断すると、[最近使用した接続] 画面が表示されます。アイコンの写真については、[「Horizon View Client Tools \(P. 38\)」](#) を参照してください。

注意 View 管理者は、切断された時点で自動的にログオフするようにデスクトップを構成できます。その場合、デスクトップで開いているプログラムは停止します。

デスクトップからのログオフ

Horizon View Client でデスクトップを開いていなくても、リモート デスクトップのオペレーティングシステムからログオフできます。

リモート デスクトップに現在接続してログインしている場合、Windows の [スタート] メニューを使用してログオフできます。Windows でログオフ後、デスクトップは切断され、[最近使用した接続] 画面が表示されます。

注意 リモート デスクトップで開いている未保存ファイルは、ログオフ操作中に閉じられます。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- 1 度もログインしたことがない場合は、[「リモート デスクトップへの初回ログイン \(P. 25\)」](#) で手順について理解しておきます。

手順

- Horizon View Client 2.3 以降では、以下の手順を実行します。
 - a [最近使用した接続] 画面で、右上にある [クラウド] アイコンをタップし、サーバ名の横にある矢印 (>) をタップします。
 - b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。
 - c デスクトップリストで、コンテキストメニューが表示されるまでデスクトップ名をタッチして押したままにします。
 - d コンテキストメニューの [ログオフ] ボタンをタップします。

- Horizon View Client 2.2 以前では、以下の手順を実行します。
 - a Horizon View Client のホーム画面で、リモート デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。
コンテキスト メニューは、管理者が許可した場合に限って使用できます。メニュー項目は、デスクトップのステータスがそのような動作を実行できる場合に限って使用できます。

オプション	アクション
[最近使用したデスクトップ] ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバ リストの使用	<ol style="list-style-type: none"> 1 画面の右上隅にある [クラウド] アイコンをタップし、サーバ名をタップします。 2 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力してサーバに接続します。 3 デスクトップ名をタップして押したままにします。

- b コンテキスト メニューから [ログオフ] を選択します。
- c デスクトップのショートカットからデスクトップにアクセスした後に入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

次に進む前に

Horizon View Client 2.3 以降を使用している場合は、システムの [戻る] ボタンをタップし、[ログアウト] をタップして [最近使用した接続] 画面に戻ることができます。

デスクトップのロールバック

ロールバックすると、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードで使用するためにチェックアウトしたりリモート デスクトップに対して行った変更が破棄されます。



注意 ローカル モードのデスクトップが変更され、ロールバック前に変更が View server にレプリケートされない場合は、変更は失われます。

開始する前に

- ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコード、スマート カード個人識別番号 (PIN) などのログインに必要な認証情報を取得します。
- データまたはファイルを保存するために、デスクトップをサーバにバックアップします。
View Administrator を使ってデータをサーバにレプリケートするか、ポリシーが許可する設定の場合、デスクトップが現在チェックアウトされている Windows クライアントのローカル モードで Horizon View Client を使用できます。
- 1 度もログインしたことがない場合は、「[リモート デスクトップへの初回ログイン \(P. 25\)](#)」で手順について理解しておきます。

手順

- Horizon View Client 2.3 以降では、以下の手順を実行します。
 - a [最近使用した接続] 画面で、右上にある [クラウド] アイコンをタップし、サーバ名の横にある矢印 (>) をタップします。
 - b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

- c デスクトップリストで、コンテキストメニューが表示されるまでデスクトップ名をタッチして押したままにします。
- d コンテキストメニューの [ロールバック] ボタンをタップします。
- Horizon View Client 2.2 以前では、以下の手順を実行します。
 - a Horizon View Client のホーム画面で、リモート デスクトップのコンテキストメニューを表示します。
コンテキストメニューは、管理者が許可した場合に限って使用できます。メニュー項目は、デスクトップのステータスがそのような動作を実行できる場合に限って使用できます。

オプション	アクション
[最近使用したデスクトップ] ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバリストの使用	<ol style="list-style-type: none"> 1 画面の右上隅にある [クラウド] アイコンをタップし、サーバ名をタップします。 2 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 3 デスクトップ名の横にある矢印 (>) をタップします。

- b コンテキストメニューから [ロールバック] を選択します。
- c デスクトップのショートカットからデスクトップにアクセスした後に入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

リモート デスクトップがロールバックされた後、デバイスからログインできます。

デスクトップ ショートカットの管理

リモート デスクトップにログインすると、Horizon View Client は最近使用したデスクトップのショートカットを [最近使用した接続] 画面に保存します。これらのデスクトップ ショートカットは並び替えたり、削除したりできます。

Horizon View Client 2.3 以降では、[最近使用した接続] 画面は複数のページから構成されていることもあります。この場合、ページをスワイプしてさらに多くのデスクトップ ショートカットを表示できます。Horizon View Client は必要に応じて新しいページを作成し、すべてのデスクトップ ショートカットを格納できます。

手順

- Horizon View Client 2.3 以降では、以下の手順を実行してデスクトップ ショートカットを削除します。
 - a [ショートカットを削除] が画面の下部に表示されるまでショートカットにタッチして押したままにします。
 - b デスクトップショートカットを [ショートカットを削除] にドラッグします。
- Horizon View Client 2.2 以前のバージョンでは、以下の手順を実行してデスクトップ ショートカットを削除します。
 - a Horizon View Client ホーム画面の [最近使用したデスクトップ] 領域でリモート デスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
 - b コンテキストメニューから [ショートカットを削除] を選択します。
- Horizon View Client 2.3 以降でデスクトップ ショートカットを移動するには、ショートカットにタッチして押したままにし、新しい場所にドラッグします。

既存のページでない限り、デスクトップ ショートカットを別のページにドラッグすることはできません。

モバイルデバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用

4

モバイル デバイスでは、ナビゲーションを支援する Horizon View Client の追加機能を使用できます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [機能サポート一覧 \(P. 33\)](#)
- [入力デバイス、キーボード、およびキーボード設定 \(P. 34\)](#)
- [日本語 106/109 キーボード レイアウトの有効化 \(P. 35\)](#)
- [Unity Touch でのアプリケーションの起動、最小化と終了 \(P. 35\)](#)
- [Horizon View Client Tools \(P. 38\)](#)
- [動作 \(P. 41\)](#)
- [マルチタスク \(P. 42\)](#)
- [画面解像度と外部ディスプレイの使用 \(P. 42\)](#)
- [PCoIP クライアントサイドイメージ キャッシュ \(P. 43\)](#)
- [国際化と国際キーボード \(P. 44\)](#)

機能サポート一覧

一部の機能は、Horizon View Client のタイプによってサポートされる場合とされない場合があります。たとえば、ローカル モードは、Windows 版 Horizon View Client でのみサポートされます。

表 4-1. Android 版 Horizon View Client 向け Windows デスクトップでサポートされる機能

機能	Windows 8x デスクトップ	Windows 7 デスクトップ	Windows Vista デスクトップ	Windows XP デスクトップ	Windows Server 2008 R2 デスクトップ
RSA SecurID または RADIUS	○	○	○	○	○
シングル サインオン	○	○	○	○	○
RDP 表示プロトコル					
PCoIP 表示プロトコル	○	○	○	○	○
USB アクセス					
リアルタイム オーディオ ビデオ (RTAV)					
Wyse MMR					
Windows 7 MMR					
仮想プリンタ					

表 4-1. Android 版 Horizon View Client 向け Windows デスクトップでサポートされる機能 (続き)

機能	Windows 8.x デスクトップ	Windows 7 デスクトップ	Windows Vista デスクトップ	Windows XP デスクトップ	Windows Server 2008 R2 デスクトップ
ロケーション ベースの印刷	○	○	○	○	
スマート カード	○	○	○	○	○
複数のモニタ					
ローカル モード					

Android 版 Horizon View Client 向け Windows デスクトップでサポートされている機能には、以下の制限があります。

- Windows 8.x デスクトップは、Horizon View 5.2 以降のサーバおよびデスクトップを所有している場合に限ってサポートされます。
- Windows Server 2008 R2 デスクトップは、Horizon View 5.3 以降のサーバおよびデスクトップを所有している場合に限ってサポートされます。

上記の機能の詳細および制限事項については、『VMware Horizon View プランニング ガイド』を参照してください。

入力デバイス、キーボード、およびキーボード設定

Android 版 Horizon View Client は、Bluetooth、ドッキング キーボード デバイス、および多言語キーボードをサポートします。自動的に文字を大文字にしたり、テキストを修正したりするなどの設定を行うこともできます。

外部キーボードおよび入力デバイス

お使いのタブレットがサポートするデバイスの詳細については、タブレットの製造元からのドキュメントを参照してください。

外部キーボードの一部は Horizon View Client によって自動検出されます。一部の外部キーボードについては、3 本指で同時にタブレット画面をタップするか、[キーボード] ボタンをタップする必要があります。フル画面モードを使用していない場合、このボタンは Horizon View Client ツールバーにあります。フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、キーボード アイコンをタップします。アイコンの写真については、[\[Horizon View Client Tools \(P. 38\)\]](#) を参照してください。

注意 Kindle Fire タブレットでは、3 本の指でタップしても、オンスクリーン キーボードは表示されません。[キーボード] アイコンを代わりに使用して、オンスクリーン キーボードを表示できます。

外部キーボードが検出されると、Horizon View Client ツールを使用したり 3 本指のタップを使用してオンスクリーン キーボードを表示したりできなくなることがあります。最初に Eject (取り外し) キーを押して外部キーボードを非アクティブにする必要があります。

国際キーボード

入力方法を正しくインストールすれば、以下の言語で文字を入力できます:英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語、および韓国語など。

キーボードまたは音声の言語の選択または選択解除を行うには、オンスクリーン キーボードの Keyboard Settings (キーボード設定) キーをタップします。Keyboard Settings (キーボード設定) キーは、オンスクリーン キーボードの下段の左端のキーです。設定の選択が完了したら、Android Back (Android 戻る) ボタンをタップしてダイアログ ボックスを消去します。

日本語 106/109 キーボード レイアウトの有効化

Windows XP デスクトップに接続している場合は、Horizon View Client 2.3 以降で日本語 106/109 キーボード レイアウトを使用できるように構成できます。

開始する前に

- Horizon View Client 2.3 以降を使用していることを確認します。
- Horizon View Client を使用して、日本語キーボード レイアウトが有効になっている Windows XP デスクトップに接続します。

手順

- 1 Horizon View Client ユーザー インターフェイス ツールを使用して、[全般設定] リストを表示します。
フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。フル画面モードを使用していない場合、[設定]ボタンは画面の右上隅にあります。
- 2 [日本語 106/109 キーボードの使用] をタップしてチェック ボックスをオンにします。
Windows XP デスクトップのキーボード レイアウトが日本語に設定されていないか、デスクトップが Windows XP を実行していない場合には、この設定は無効になります。

Unity Touch でのアプリケーションの起動、最小化と終了

タブレットおよびスマートフォンユーザーは、Unity Touch スライドバーからリモート デスクトップ アプリケーションまたはファイルに素早く移動できます。このスライドバーから、ファイルおよびアプリケーションを開いたり、実行しているアプリケーションを切り替えたり、ウィンドウやアプリケーションを最小化または最大化したり、元の大きさに戻したり、閉じたりできます。

Unity Touch 機能を有効にすると、最初にリモート デスクトップにアクセスする時に画面の左側にサイドバーが表示されます。

図 4-1. Unity Touch サイドバー



Unity Touch が有効にされているがサイドバーが表示されていないデスクトップにアクセスすると、画面の左側にタブが表示されます。このタブを右にスワイプしてサイドバーを開いたり、タブを上下にスライドできます。

このサイドバーから、ファイルまたはアプリケーションで多くの操作を実行できます。

表 4-2. サイドバーから実行できる操作

アクション	手順
サイドバーを表示	画面の左側のタブをタップして押したままに、右にスワイプします。サイドバーが開いているときは、デスクトップ画面や Horizon View Client Tools ラジアルメニューでの操作を実行できません。
サイドバーを非表示にする	タブを左にスワイプしてサイドバーを閉じます。サイドバーが開いているときは、デスクトップ画面や Horizon View Client Tools ラジアルメニューでの操作を実行できません。
アプリケーションに移動	[すべてのプログラム] をタップして、Windows の [スタート] メニューからの操作と同じようにアプリケーションに移動します。
ファイルへの移動	[マイ ファイル] をタップして ユーザー フォルダにアクセスし、ファイルに移動します。[マイ ファイル] には、 マイ ピクチャ 、 マイ ドキュメント 、および ダウンロード などのフォルダが含まれます。 [マイ ファイル] には、ユーザー プロファイルのフォルダが含まれます (%USERPROFILE% ディレクトリ)。%USERPROFILE% ディレクトリに システム フォルダを移動すると、ローカルに移動したフォルダか、ネットワーク共有フォルダかにかかわらず、[マイ ファイル] メニューは移動したフォルダからコンテンツを表示できます。
アプリケーションまたはファイルの検索	<ul style="list-style-type: none"> ■ [検索] ボックスをタップし、アプリケーションまたはファイルの名前を入力します。 ■ 音声読み上げを使用するには、キーボードでマイクロフォンをタップします。 ■ アプリケーションまたはファイルを起動するには、検索結果でアプリケーションまたはファイルの名前をタップします。 ■ サイドバーのホーム表示に戻るには、[X] をタップして [検索] ボックスを閉じます。
アプリケーションまたはファイルを開く	サイドバーのファイルまたはアプリケーションの名前をタップします。アプリケーションが起動し、サイドバーが閉じます。
動作中のアプリケーションまたは開いているウィンドウの切り替え	[動作中のアプリケーション] でアプリケーション名をタップします。複数のファイルがひとつのアプリケーションで開かれている場合、アプリケーションの横の山形マーク ([>]) をタップしてリストを展開します。
動作中のアプリケーションまたはウィンドウを最小化する	コンテキストメニューが表示されるまで [動作中のアプリケーション] の下のアプリケーション名をタッチして押したままにします。[最小化] をタップします。 注意 アプリケーションの最小化は、Horizon View Client 2.1 以降で実行できます。ここで説明されている手順を使用するには、Horizon View Client 2.3 以降が必要です。
動作中のアプリケーションまたはウィンドウを最大化する	コンテキストメニューが表示されるまで [動作中のアプリケーション] の下のアプリケーション名をタッチして押したままにします。[最大化] をタップします。 注意 この機能を使用するには、Horizon View Client 2.3 以降が必要です。
動作中のアプリケーションまたはウィンドウを閉じる	コンテキストメニューが表示されるまで [動作中のアプリケーション] の下のアプリケーション名をタッチして押したままにします。[閉じる] をタップします。 注意 アプリケーションは、Horizon View Client 2.1 以降で閉じることができます。ここで説明されている手順を使用するには、Horizon View Client 2.3 以降が必要です。
実行中のアプリケーションまたはウィンドウを元のサイズと位置に戻す	コンテキストメニューが表示されるまで [動作中のアプリケーション] の下のアプリケーション名をタッチして押したままにします。[元に戻す] をタップします。 注意 この機能を使用するには、Horizon View Client 2.3 以降が必要です。

表 4-2. サイドバーから実行できる操作 (続き)

アクション	手順
お気に入りのアプリケーションまたはファイルの一覧を作成	<ol style="list-style-type: none"> 1 アプリケーションまたはファイルを検索するか、[お気に入りのアプリケーション] または [お気に入りのファイル] リストの下にある [管理] をタップします。 [管理] バーが表示されない場合、[お気に入りのアプリケーション] または [お気に入りのファイル] の横の山形マーク ([>]) をタップします。 注意 検索結果のリストからお気に入りを追加するには、Horizon View Client 2.1 以降が必要です。 2 使用できるアプリケーションまたはファイルの検索結果またはリストで、お気に入りの名前の横にあるチェックボックスをタップします。 最後に追加したお気に入りの名前がお気に入りリストの最上部に表示されます。 すべてのモバイル デバイスでお気に入りが記憶されます。たとえば、使用しているスマートフォンでもタブレットでも同じリストを持つことになります。 注意 検索結果からお気に入りを追加するには、Horizon View Client 2.1 以降が必要です。
お気に入りリストからアプリケーションまたはファイルを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1 アプリケーションまたはファイルを検索するか、[お気に入りのアプリケーション] または [お気に入りのファイル] リストの下にある [管理] をタップします。 [管理] バーが表示されない場合、[お気に入りのアプリケーション] または [お気に入りのファイル] の横の山形マーク ([>]) をタップします。 2 お気に入りリストでアプリケーションまたはファイルの名前の横にあるチェックマークをタップして削除します。
お気に入りリストでアプリケーションまたはファイルの順序を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1 [お気に入りのアプリケーション] または [お気に入りのファイル] リストの下の [管理] をタップします。 [管理] バーが表示されない場合、[お気に入りのアプリケーション] または [お気に入りのファイル] の横の山形マーク ([>]) をタップします。 2 お気に入りリストで、アプリケーション名またはファイル名の左側にあるハンドルにタッチして押し続けたままにし、お気に入りをリストの上下にドラッグします。 注意 お気に入りリストでアプリケーションまたはファイルの順序を変更するには、Horizon View Client 2.3 以降が必要です。

注意 Horizon View 5.2 以降のサーバおよびデスクトップがある場合、Unity Touch 機能が利用できます。デスクトップに Remote Experience Agent がインストールされている必要があります。Remote Experience Agent をインストールしてこの機能をオフにする場合は、リモート デスクトップでレジストリ値を設定できます。手順については、『VMware Horizon View 機能パック のインストールと管理』を参照してください。

ユーザーが流動デスクトップを持っている場合、ユーザーのお気に入りのアプリケーションおよびファイルは、そのデスクトップ用に Windows 移動プロファイルが構成されている場合に限り保存できます。管理者は、サイドバーが初めて表示されたときにエンドユーザーに表示されるデフォルトの [お気に入りのアプリケーション] リストを作成できます。詳細については、『VMware Horizon View 機能パック のインストールと管理』を参照してください。

Horizon View Client Tools

これらのツールには、オンスクリーン キーボード、仮想タッチパッド、構成設定、および矢印キーや Function キー用の仮想キーボードを表示するためのボタンが含まれます。

Horizon View Client 2.0 以降では、Horizon View Client がフル画面モードの場合、ラジアルメニューがリモート デスクトップにログインすると画面の右端に表示されます。メニューをドラッグして回転できます。タップするとメニューが拡大され、各ツールのアイコンが表示されます。このアイコンはタップで選択することができます。アイコンを球形の中に戻すには、アイコンの外側をタップします。

ラジアルメニューにはいくつかのツールが含まれます。

表 4-3. ラジアルメニューアイコン

アイコン	説明
	Horizon View Client Tools (ラジアルメニュー)
	デスクトップから切断します。
	オンスクリーン キーボード (表示または非表示に切り替え)
	設定
	ナビゲーションキー
	仮想タッチパッド
	動作ヘルプ

デスクトップがフル画面モードでなければ、ツールバーは画面の上のメニューバーの右側に表示されます。

Android 版 View Client 1.3 から 1.7 では、ラジアルメニューは使用できません。その代わりに、ツールバーが画面の上のアクションバーの右側に表示されます。

Android 版 View Client 1.2 では、画面下部のステータスバーのグリッドアイコンをタップして、このツールバーを表示できます。

オンスクリーン キーボード

リモート デスクトップ内のオンスクリーン キーボードには、標準オンスクリーン キーボードよりも多くのキーがあります。たとえば、Control キーや Function キーが利用可能です。オンスクリーン キーボードを表示するには、画面を同時に 3 本の指でタップするか、[キーボード] ボタンをタップします。

フル画面モードを使用していない場合、このボタンは Horizon View Client ツールバーにあります。フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、キーボード アイコンをタップします。アイコンの写真については、このトピックの先頭の表を参照してください。

重要 また、View 5.1 デスクトップで Horizon View Client 1.5 以降を使用する場合は、メモ帳や新しい連絡先などでテキスト フィールドをタップするだけですぐにオンスクリーン キーボードを表示できる機能を利用することができます。テキスト フィールドでない領域をタップすると、キーボードが消えます。

この機能をオンまたはオフにするには、Horizon View Client ツールを使用して [全般設定] リストを表示し、[キーボード ポップアップ] および [キーボードの消去] オプションを設定します。フル画面モードを使用していない場合、設定ボタンは画面の右上隅にあります。フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。フル画面モードで使用されるアイコンの写真については、このトピックの先頭の表を参照してください。

注意 Kindle Fire タブレットでは、3本の指でタップしても、オンスクリーン キーボードは表示されません。その代わりに、Horizon View Client ツールバーの [キーボード] アイコンを使用して、オンスクリーン キーボードを表示します。

外部キーボードを使用している場合、1行オンスクリーン キーボードが表示されることがあります。このキーボードには Function キー、Ctrl キー、Alt キー、Windows キー、および矢印キーが含まれます。外部キーボードによっては、これらのすべてのキーが揃っていない場合があります。

文字列の送信

オンスクリーン キーボードで、Ctrl キー左横のペン アイコンをタップして、ローカル入力バーを表示させます。テキスト ボックスに入力した文字列は、[送信] をタップするまでアプリケーションに送信されません。たとえば、Notepad などのアプリケーションを開き、ペン アイコンをタップした場合、入力した文字列は [送信] をタップするまで Notepad アプリケーション内に表示されません。

ネットワーク接続が低速の場合、この機能を使用します。つまり、この機能を使用すると、文字を入力しても、アプリケーション内に直ちに表示されません。この機能を使って、最大 1,000 文字を入力し、[送信] または [戻る] をタップして、アプリケーション内に 1,000 文字すべてを同時に表示させることができます。

バージョン 1.4 以前の Horizon View Client を使用している場合、マルチステージ IME サポートが必要な韓国語などの言語を入力するには、この機能を使用します。バージョン 1.5 以降の Horizon View Client では、韓国語の入力にはこの機能を使用する必要はありません。

ナビゲーション キー

Horizon View Client インターフェイス ツールまたはオンスクリーン キーボード上の [Ctrl/Page] アイコンをタップして、ナビゲーション キーを表示します。これらのキーには、Page Up キー、Page Down キー、矢印キー、Function キーおよび Windows 環境でよく使用する Alt キー、Del キー、Shift キー、Ctrl キー、Windows キー、Esc キーを含んでいます。矢印キーを押し続け、連続して動かすことができます。Ctrl/Page アイコンの写真については、このトピックの先頭の表を参照してください。

Ctrl+Shift など Shift キーを含むキーの組合せを使用する必要がある場合、このキーパッドの Shift キーを使用します。Ctrl+Alt+Delete などこれらのキーの組合せをタップするには、最初にオンスクリーンの Ctrl キーをタップします。Ctrl キーが青色に変わってから、オンスクリーンの Alt キーをタップします。Alt キーが青色に変わってから、オンスクリーンの Del キーをタップします。

オンスクリーン タッチパッドとフル画面タッチパッド

仮想タッチパッドは、ラップトップコンピュータのタッチパッドを模した通常サイズ、またはデバイスの画面全体がタッチパッドとなるフル画面の、いずれかを選択できます。

View Client 1.7 以降のバージョンでは、デフォルトの動作として、タッチパッドのアイコンをタップすると、画面上の任意の場所をタッチすることでマウス ポインターを移動できます。画面はフル画面タッチパッドになります。仮想タッチパッドが左/右クリック ボタンを備えたラップトップのタッチパッドのようになるようデフォルトの設定を変更するには、Horizon View Client インターフェイス ツールを使用して [全般設定] または [オプション] を表示し、[フル画面タッチパッド] コントロールをオフに切り替えます。

[全般設定] リストを表示して仮想タッチパッドの入力を選択するには、フル画面モードを使用していない場合、[設定] ボタンは画面の右上隅にあります。フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。フル画面モードで使用されるアイコンの写真については、このトピックの先頭の表を参照してください。

- タッチパッドの周りで指を動かすと、リモート デスクトップの周りを移動するマウスポインタができます。
- 通常サイズおよびフル画面の仮想タッチパッドでは、シングルクリックにもダブルクリックにも使用できます。
- 通常サイズのタッチパッドには、左クリックボタンと右クリックボタンもあります。
- 2本の指でタップし、ドラッグして垂直方向にスクロールします。

通常サイズの仮想タッチパッドをデバイスの端にドラッグすれば、デバイスを手に持ちながら親指でタッチパッドの操作を行うことができます。

タッチパッド使用時のポインタの移動速度を調節するには、フル画面モードを使用していない場合、Horizon View Client ツールバーを使用して [全般設定] リストを表示します。フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。[タッチパッド感度] オプションでスライダをドラッグします。アイコンの写真については、このトピックの先頭の表を参照してください。

動作

VMware は、Windows 以外のデバイス上で、従来の Windows ユーザー インターフェイス要素をナビゲートするためのユーザーとの対話補助を開発しました。

クリック

他のアプリケーションと同様に、ユーザー インターフェイスのエLEMENTにタップしてクリックします。

右クリック

次のオプションが右クリック用に利用可能です。

- Horizon View Client インターフェイス ツールを使用して通常サイズの仮想タッチパッドを表示し、タッチパッドの右クリック ボタンを使用します。
- 2本の指でほぼ同時にタップします。右クリックが最初の指のタップで発生します。
- リリース 1.5 以降の Android 版 View Client では、一部のデバイスで USB マウスや Bluetooth マウスなどの外付けマウスを使用して右クリックすることができます。

スクロールおよびスクロールバー

垂直方向のスクロールにはいくつかのオプションが利用可能です。

- 画面上で、1本または2本の指でタップし、ドラッグしてスクロールします。指の下のテキストが指の動きを同じ方向に移動します。

重要 1本指でのスクロールは Horizon View Client 2.1 で利用できます。1本指でのスクロールには制限があり、ズームイン時、オンスクリーン キーボードの表示時、フル画面タッチパッド使用時には機能しません。

- Horizon View Client インターフェイス ツールを使用してタッチパッドを表示し、次にタッチパッドを2本指でタップして、ドラッグでスクロールします。
- オンスクリーン タッチパッドを使用して、マウス ポインターを移動させ、スクロールバーをクリックします。

ズームインおよびズームアウト

他のアプリケーションと同様に、指を合わせたり広げたりすることでズームを行います。

画面のリサイズ

フル画面タッチパッドを使用してウィンドウのサイズを変更する場合は、ウィンドウの隅または左右の辺を 1 本の指でタッチしたままドラッグします。

通常サイズの仮想タッチパッドを使用する場合は、左クリック ボタンを押したまま、ウィンドウのコーナーまたは左右の辺をドラッグします。

音声、音楽、そしてビデオ

デバイスで音声が入音になっている場合、リモート デスクトップでオーディオを再生することができます。

マルチタスク

デスクトップ接続を失わずにリモート デスクトップと他のアプリ間を切り替えることができます。

WiFi ネットワークでは、デフォルトで Horizon View Client がバックグラウンドで無期限に稼働します。Horizon View Client のバージョンによって異なりますが、3G ネットワークでは、クライアントはデータ コストを節約するためにデータ転送をサスペンドできます。

- View Client 1.6 以降では、他のアプリに切り替える時にデータ転送がサスペンドされます。Horizon View Client に戻すとデータ転送は再開します。
- View Client 1.5 以前は、デフォルトでデスクトップへの接続が直ちに切断されます。View Client ツールバーの [設定] ボタンを使用して、[アプリの切り替え時に切断] 設定をオフにして、アプリを無期限に実行できます。(この設定は、View Client 1.6 では不要となり、削除されました。)

アプリケーションがバックグラウンドで稼働し、リモート デスクトップに接続しているときは、Horizon View Client アイコンがステータスバーに表示されます。Horizon View Client に切り替えて戻すには、ステータス バー内のアイコンをタップします。

Android デバイス アプリケーションとリモート デスクトップ間または 2 つのリモート デスクトップ間で、プレーン テキストをコピーおよびペーストすることができます。フォーマット情報はコピーされません。

- リモート デスクトップにログインしたときに、Android デバイスのクリップボードにコピーしたテキストがリモート デスクトップのクリップボードに自動的にコピーされます。
- リモート デスクトップにログインしている場合、ホーム ボタンを押すか、またはバックグラウンドに切り替えたときに、リモート デスクトップのクリップボードにコピーしたテキストが Android デバイスのクリップボードにコピーされます。

画面解像度と外部ディスプレイの使用

デバイスを外部ディスプレイまたはプロジェクタに接続する場合、Horizon View Client は一定の最大画面解像度に対応しています。また、デバイスで使用する画面解像度を変更すれば、より大きな画面解像度のスクロールも可能になります。

リモート デスクトップの画面解像度の拡張

デフォルトでは、Windows デスクトップ全体がデバイス内に収まり、デスクトップ アイコンとタスク バー アイコンが一定のサイズになるように、ディスプレイの解像度が設定されています。ただし、デフォルトをより高い解像度に変更することができます。変更した場合、デスクトップはこれまでどおりデバイス内に収まりますが、デスクトップ アイコンとタスク バー アイコンはより小さくなります。指でつまむようにして広げることで、デスクトップを拡大してデバイスよりも大きくすることができます。タップしてドラッグすれば、デスクトップの端にアクセスすることができます。

ディスプレイの解像度設定の変更

[設定] ダイアログボックスで [解像度] 設定を使用すれば、ディスプレイの解像度をより大きな値に設定することができます。フル画面モードを使用していない場合、Horizon View Client ツールバーを使用して [設定] ダイアログボックスを表示します。フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。[タッチパッド感度] オプションでスライダをドラッグします。Horizon View Client Tools ラジアルメニューの設定アイコンの写真については、[\[Horizon View Client Tools \(P. 38\)\]](#) を参照してください。

プロジェクタ使用時の画面解像度

プロジェクタにより高い解像度を設定するには、[解像度] 設定を使用します。

View Client 2.1 以降を使用している場合、[全般設定] リストの [プレゼンテーション モード] 設定を使用して、プロジェクタまたは接続したモニタにリモート デスクトップを表示中に、キーボードおよびデバイスの拡張オンスクリーン タッチパッドを表示することができます。デバイスを外部モニタに接続しているときには、拡張タッチパッドとキーボードが表示されます。デバイスは、外部ディスプレイで指定された最大解像度を検出します。現在、プレゼンテーション モードは以下のデバイスで Android 4.2 を使用している場合に限ってサポートされます：Google Nexus 4、Google Nexus 10、および Samsung Galaxy S 4。

View Client 2.2 以降を使用している場合、[プレゼンテーション モード] 設定をオフにすることで、プロジェクタ、または Unity Touch sidebar などの接続したモニタのデバイス ディスプレイ全体を反転できます。リモート デスクトップに接続されていて、[プレゼンテーション モード] 設定がオンになっている場合は、[完了] をクリックすると反転モードに切り替わります。

[起動したままにする] 設定を使用して、プレゼンテーション モード中に非アクティブな時間の経過後にディスプレイがオフにならないようにします。この機能は、View Client 2.1 がある場合のみ使用できます。

PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシュ

PCoIP クライアントサイド イメージ キャッシングでは、再送信を回避するためにイメージコンテンツをクライアントに保存します。この機能は帯域幅の使用を減らします。

重要 この機能は、View Agent および View 接続サーバが View 5.0 以降のバージョンである場合のみ使用可能です。

PCoIP イメージ キャッシュは、一時的なものと同様、空間的冗長性をキャプチャします。たとえば、PDF ドキュメントをスクロールダウンすると、ウィンドウの下部から新しいコンテンツが表示され、一番古いコンテンツはウィンドウのトップから表示されなくなります。他のコンテンツはすべて変わらず、上に移動します。PCoIP イメージ キャッシュは、この空間的で時間的な冗長性を検出できます。

スクロールの間、クライアント デバイスに送られたディスプレイ情報は、主として、かなりの大きさの帯域幅を保存するイメージ キャッシュを使用しているキャッシュ インデックスのシーケンスです。このように効率的なスクロールは、LAN 上、WAN を介する場合のいずれもメリットがあります。

- LAN 上では、帯域幅は比較的制約がありませんが、クライアントサイド イメージ キャッシングを使用しており、かなりの大きさの帯域幅を節約できます。
- WAN を介して、利用可能な帯域幅の制限内に抑えるには、クライアントサイドのキャッシングなしではスクロールのパフォーマンスが低下します。WAN 介して、クライアントサイドのキャッシングにより帯域幅が節約され、スムーズで高感度のスクロール体験が可能になります。

クライアントサイド キャッシングでは、クライアントは以前に転送した表示部分を保存します。キャッシュ サイズは 250 MB です。

Horizon View Client 2.0 以降のバージョンでは、Horizon View 5.2 サーバおよびデスクトップを使用する場合、90MB のクライアント側のキャッシュにより、以前のバージョンで 250MB のキャッシュを使用した場合に相当するパフォーマンスが実現します。

国際化と国際キーボード

Horizon View Client のユーザー インターフェイスとドキュメントは両方とも、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語、および韓国語で利用可能です。これらの言語に加えてその他の言語でも文字を入力することもできます。

キーボードまたは音声の言語の選択または選択解除を行うには、オンスクリーン キーボードの **Keyboard Settings** (キーボード設定) キーをタップします。**Keyboard Settings** (キーボード設定) キーは、オンスクリーン キーボードの下段の左端のキーです。

Horizon View Client のトラブルシューティング

5

ほとんどの Horizon View Client の問題はデスクトップのリセットか、アプリの再起動によって解決できます。トラブルシューティングのためにログ収集を有効にし、ログ ファイルを VMware に送信することもできます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [ログ情報の収集と送信 \(P. 45\)](#)
- [デスクトップのリセット \(P. 47\)](#)
- [VMware View アプリケーションのアンインストール \(P. 48\)](#)
- [Horizon View Client の応答の停止またはリモート デスクトップのフリーズ \(P. 48\)](#)
- [プロキシ使用時の接続構築に関する問題 \(P. 48\)](#)

ログ情報の収集と送信

Horizon View Client 2.2 以降を使用している場合、Horizon View Client を構成して、ログ情報を収集し、ログ ファイルを VMware に送信してトラブルシューティングに利用することができます。

Horizon View Client が予期せず終了すると、Horizon View Client により、VMware にログ ファイルを送信することを指示するメッセージが即座に表示されます。ログ収集が有効であると、クラッシュ ログ ファイルに詳細デバック情報が出力されます。ログ収集が無効であると、一定の例外情報だけがクラッシュ ログ ファイルに出力されます。

ログ ファイルを VMware に送信することを選択した場合、Horizon View Client により、デバイス上の利用可能な電子メール クライアントを使ってメッセージが作成されます。電子メール クライアントが複数の添付ファイルを送信できる場合、Horizon View Client は最新の 5 つのログ ファイルをメッセージに添付します。電子メール クライアントが複数の添付ファイルを送信できない場合、Horizon View Client は最新の 5 つのログ ファイルを圧縮し、ZIP ファイルをメッセージに添付します。ZIP ファイル名にはタイムスタンプが付加され、たとえば、**Horizon_View_Client_logs_<timestamp>.zip** というファイル名になります。

いつでも手動でログ ファイルを取得して送信することもできます。

View Client ログ収集の有効化

ログ収集を有効にすると、Horizon View Client は、VMware による Horizon View Client の問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むログ ファイルを作成します。

ログ収集は Horizon View Client のパフォーマンスに影響するため、問題が発生している場合のみ、ログ収集を有効にします。

開始する前に

- Horizon View Client 2.2 以降を使用していることを確認します。
- デバイスに利用可能な電子メール クライアントがあることを確認します。Horizon View Client には、ログ ファイルを送信するための電子メール クライアントが必要です。

手順

- 1 Horizon View Client インターフェイス ツールを使用して、[全般設定] リストを表示します。
フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。フル画面モードを使用していない場合、[設定]ボタンは画面の右上隅にあります。
- 2 [ログの有効化]をタップしてチェックボックスをオンにし、[OK] をクリックして選択を確定します。

ログ収集が有効になると、Horizon View Client は予期せずに終了したり、終了して再起動した場合にログ ファイルを生成します。

Horizon View Client ログ ファイルの手動での取得と送信

Horizon View Client ログ収集がデバイスで有効になっていれば、ログ ファイルをいつでも手動で取得および送信できます。

この手順では、Horizon View Client でログ ファイルを取得および送信する方法を説明します。アプリケーションのストレージ領域にアクセスできるツールを使用してログ ファイルを取得することもできます。Horizon View Client はログ ファイルを `Android/data/com.vmware.view.client.android/files` ディレクトリに保存します。

開始する前に

- デバイスに利用可能な電子メール クライアントがあることを確認します。Horizon View Client には、ログ ファイルを送信するための電子メール クライアントが必要です。
- View Client ログ収集を有効にします。[\[View Client ログ収集の有効化 \(P. 45\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 Horizon View Client インターフェイス ツールを使用して、[全般設定] リストを表示します。
フル画面モードを使用している場合、Horizon View Client Tools アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。フル画面モードを使用していない場合、[設定]ボタンは画面の右上隅にあります。
- 2 [一般設定] をタップします。
- 3 [ログを送信] をタップします。

Horizon View Client はデバイスの電子メール クライアントを使用してメッセージを作成します。メッセージの本文にデバイスに関する情報が含まれます。電子メール クライアントが複数の添付ファイルを送信できる場合、Horizon View Client は最新の 5 つのログ ファイルをメッセージに添付します。電子メール クライアントが複数の添付ファイルを送信できない場合、Horizon View Client は最終の 5 つのログ ファイルを圧縮し、ZIP ファイルをメッセージに添付します。

View Client ログ収集の無効化

ログ収集は Horizon View Client のパフォーマンスに影響するため、問題のトラブルシューティングを実行していない場合は、ログ収集を無効にします。

開始する前に

Horizon View Client 2.2 以降を使用していることを確認します。

手順

- 1 Horizon View Client インターフェイス ツールを使用して、[全般設定] リストを表示します。
フル画面モードを使用している場合、[View Client Tools] アイコンをタップし、設定アイコンをタップします。フル画面モードを使用していない場合、[設定]ボタンは画面の右上隅にあります。
- 2 [ログの有効化] をタップします。
View Client で [ログの有効化] チェックボックスがクリアされます。

デスクトップのリセット

リセット操作を実行すると、デスクトップがシャットダウンおよび再起動されます。保存されていないデータは失われます。

デスクトップ オペレーティング システムが応答しなくなった場合、デスクトップのリセットが必要な場合があります。

リモート デスクトップをリセットする操作は、物理的な PC を強制的に再起動するためにその PC の [リセット] ボタンを押す操作に相当します。リモート デスクトップで開いているすべてのファイルが、保存されずに閉じられることとなります。

デスクトップをリセットできるのは、View 管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。

開始する前に

- ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコード、スマートカード個人識別番号 (PIN) などのログインに必要な認証情報を取得します。
- 1 度もログインしたことがない場合は、「[リモート デスクトップへの初回ログイン \(P. 25\)](#)」で手順について理解しておきます。

手順

- Horizon View Client 2.3 以降では、以下の手順を実行します。
 - a [最近使用した接続] 画面で、右上にある [クラウド] アイコンをタップし、サーバ名の横にある矢印 (>) をタップします。
 - b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。
 - c デスクトップ リストで、コンテキスト メニューが表示されるまでデスクトップ名をタッチして押したままにします。
 - d コンテキスト メニューの [リセット] ボタンをタップします。

[リセット] コマンドは、View 管理者がそれを許可した場合で、デスクトップのステータスがその動作を実行できる場合に限り使用できます。

- Horizon View Client 2.2 以前では、以下の手順を実行します。
 - a Horizon View Client のホーム画面で、リモート デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。

コンテキスト メニューは、管理者が許可した場合に限り使用できます。メニュー項目は、デスクトップのステータスがそのような動作を実行できる場合に限り使用できます。

オプション	アクション
[最近使用したデスクトップ] ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバリストの使用	<ol style="list-style-type: none"> 1 右上にある [クラウド] アイコンをタップし、サーバ名の横にある矢印 (>) をタップします。 2 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 3 デスクトップ名の横にある矢印 (>) をタップします。

- b [リセット] をタップします。
- [リセット] コマンドは、View 管理者がそれを許可した場合で、デスクトップのステータスがその動作を実行できる場合に限り使用できます。
- c デスクトップのショートカットからデスクトップにアクセスした後に入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

VMware View アプリケーションのアンインストール

VMware View アプリをアンインストールし、再インストールすることで、Horizon View Client の問題を解決できる場合があります。

通常の Android アプリと同じように Horizon View Client をアンインストールします。

手順

- 1 デバイス上で、[アプリ] に移動し、[VMware View] アプリを参照します。
- 2 [VMware View] アイコンをタップし、デバイスの右上隅に [アンインストール] アイコンが表示されるまで 押したままにします。
- 3 [VMware View] のアイコンを [アンインストール] のゴミ箱アイコンにドラッグします。

あるいは、[アプリ]-[設定] に移動し、[アプリケーション]-[アプリケーションの管理] を選択して Horizon View Client をアンインストールできます。

次に進む前に

Horizon View Client を再インストールします。

[「Android 版 Horizon View Client のインストールまたはアップグレード \(P. 14\)」](#) を参照してください。

Horizon View Client の応答の停止またはリモート デスクトップのフリーズ

画面がフリーズしたときは、まずリモート デスクトップのオペレーティング システムのリセットを試みます。

問題

VMware View アプリが動作しなかったり、予期せず繰り返し終了したり、リモート デスクトップがフリーズしたりします。

原因

Horizon View サーバが正しく構成され、その周囲のファイアウォールの正しいポートが開いていることを前提とすると、他の問題は一般的にモバイル デバイス上の VMware View アプリまたはリモート デスクトップのゲスト OS に関係します。

解決方法

- リモート デスクトップのオペレーティング システムがフリーズする場合は、デバイスの Horizon View Client を使用してデスクトップをリセットしてください。
このオプションは、View 管理者がこの機能を有効にしている場合にのみ可能です。
- デバイスのアプリをアンインストールして再インストールします。
- リモート デスクトップをリセットして VMware View アプリを再インストールしても効果がない場合、Android デバイスのユーザー ガイドに説明されている手順に従って Android デバイスをリセットできます。
- サーバに接続を試みると接続エラーが発生するときには、場合によってはプロキシ設定を変更する必要があります。

次に進む前に

プロキシ使用時の接続構築に関する問題

LAN のプロキシを使用して View 接続サーバに接続を試みて、エラーが発生することがあります。

問題

リモート デスクトップから View 接続サーバへのセキュアな接続を使用するように Horizon View 環境が設定されており、クライアント デバイスが HTTP プロキシを使用するように設定されている場合、接続できない可能性があります。

原因

Windows Internet Explorer と異なり、クライアント デバイスには、ローカル アドレスのプロキシをバイパスするためのインターネット オプションがありません。外部アドレスをブラウズするために HTTP プロキシを使用し、内部アドレスを使用して View 接続サーバ に接続を試みると、**接続を確立できませんでした**というエラー メッセージが表示されます。

解決方法

- ◆ プロキシ設定を削除すると、デバイスはプロキシを使用しなくなります。

インデックス

A

- Android、ViewClient ノインストール 7
- Android View Client、アンインストール 48
- Android バン View Client 5
- Android バン View Client
アンインストール 48
- インストール 14
- Android 版入カデバイス 34

G

- Google Play ストア 14, 48

H

- Horizon View Client、View Portal を使用したダウンロード 13

P

- PCoIP クライアント イメージ キャッシュ 43

R

- RSA SecurID トークン 11

S

- SSL オプション 12

U

- Unity Touch 機能 35
- Unity Touch サイドバーのお気に入りリスト 35
- URI (uniform resource identifiers) 19
- URI 例 21

V

- View Agent、インストール要件 12
- View Client 用の URI 構文 19
- View Client
 - Android デバイスのシステム要件 7
 - Android デバイスのセットアップ 7
 - クライアント デバイスからログイン 25
 - デスクトップから切断 29
 - トラブルシューティング 48
- View Portal 13
- View 接続サーバ 8

W

- Windows デスクトップ 33

い

- イメージ キャッシュ、クライアント 43

お

- オプション、構成 38
- オペレーティング システム、View Agent でサポートされている 12

か

- 解像度、画面 42
- 外部ディスプレイ 42
- カスタマー エクスペリエンス プログラム、デスクトップ プール データ 15
- 画面解像度 42
- ガメンノリサイズ 41

き

- キー、ナビゲーション 38
- keyboard
 - オンスクリーン 38, 41
 - ナビゲーション キー 38
- キーボード サポート 34, 44
- 機能サポート一覧 33
- キャッシング、クライアントサイド イメージ 43

く

- クライアントイメージ キャッシュ 43
- クライアント デバイスの前提条件 8

こ

- 国際化 44

さ

- サーバ接続、管理 25
- サイドバー、Unity Touch 35

し

- システム要件、Android デバイス 7
- 証明書、問題の無視 27
- ショートカット
 - デスクトップ 31
 - ホーム画面 28

す

- スクロール 41
- スマート カード認証
 - モバイル デバイス上 10
 - 要件 9

せ

- セキュリティ サーバ、PCoIP 接続 25
- 接続の問題 48

そ

- ソフトウェア トークン 11

た

- タッチパッド、仮想 38
- タブレット動作 41

つ

- ツールバー、View Client 38

て

- ディスプレイ、外部 42
- ディスプレイヨウケン 42
- デスクトップ ショートカットの管理 31
- デスクトップの管理 25
- デスクトップのリセット 47
- デスクトップのロールバック 30

と

- トークン、RSA SecurID 11
- トラブルシューティング 48
- トラブルシューティング、接続の問題 48

な

- ナビゲーション キー 38

に

- 日本語キーボードのレイアウト 35

は

- ハードウェア要件
 - Android デバイス 7
 - スマート カード認証 9
- バックグラウンドデノジックウ 42
- バックグラウンドマルチタスク 42

ふ

- プロキシ接続 48
- プロジェクト 42

ま

- マルチタスク 42

り

- リモート デスクトップから切断 29

ろ

- ログイン
 - サーバに 25
 - デスクトップ 25
- ログオフ 29
- ログ記録 45
- ログ収集 46